

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	女鹿沢地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	現在、体調不良により農作業ができない状況であり、農地も一時的に貸し出している。	本人は目標達成の意欲があることから、体調が回復次第目標を達成させる。
耕作放棄地の解消		

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	現在、体調不良により農作業ができない状況であり、農地も一時的に貸し出している。	本人は目標達成の意欲があることから、体調が回復次第目標を達成させる。
耕作放棄地の解消		

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区はほ場整備が実施されており、今後担い手による農地の集積が期待される。そのような中で、担い手への農地集積による経営基盤の強化や、後継者の確保に取り組みながら農業集落の維持・発展を図ることとする。今後は農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することにより、中心経営体の大規模化の促進に努める。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援するとともに農地の流動化に関しては、特にほ場整備事業の計画段階から集団化・連担化した条件で担い手に農地を集積し、大規模化を図っていく。また、高付加価値化や6次産業化、新規就農の促進に努める。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、平成30年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	五郷地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農業の6次産業化	農業の6次産業化については、営業範囲を広げたものの契約に至らず、目標は達成できなかった。	営業範囲を更に広げる意向を示しているため、令和元年度までには目標を達成させる。
法人化	法人化した際のコストや法人経営に不安を感じており、目標達成に至らなかった	農業経営相談所のほか、外部有識者を活用するなど法人化への不安を払拭し、令和元年度までに目標を達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
農業の6次産業化	農業の6次産業化については、営業範囲を広げたものの契約に至らず、目標は達成できなかった。	契約件数を増加させるため、販路拡大に関するセミナー等の情報提供をし、令和元年度までには目標を達成させる。
法人化	法人化した際のコストや法人経営に不安を感じており、目標達成に至らなかった	農業経営相談所のほか、外部有識者を活用するなど法人化への不安を払拭し、令和元年度までに目標を達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は認定農業者を中心に一部山間部を除き、農用地の効率的な利用が図られている。また、当該地区では、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金等の活用により荒廃農地が解消されている。既存の農地については可能な限り認定農業者への集約化を進める。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 認定農業者など担い手の育成や新規就農の促進に向け、遊休農地については、既存の農地については可能な限り認定農業者への集約を進め、園地は改植等によるわい化栽培を主体とした園地への若返りを図るとともに、品種構成の見直しや、安全・安心で良質な生産体系の普及に努める。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、平成30年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	原別地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営規模の拡大	平成26年度に配偶者が亡くなり人員不足となったため。	目標達成の意欲はあるため、経営指導を行うとともに、農地中間管理機構や農業委員会と連携して、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる農地を掘り起こし、令和元年度までに目標を達成させる。
耕作放棄地の解消		

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営規模の拡大	平成26年度に配偶者が亡くなり人員不足となったため。	目標達成の意欲はあるため、経営指導を行うとともに、農業委員会と連携して、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる農地を掘り起こし、令和元年度までに目標を達成させる。
耕作放棄地の解消		

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 優良な耕作条件の農地確保に向けたほ場整備事業を推進し、事業の計画段階から集団化・連担化により、規模拡大志向の担い手への農地集積を図るため、今後は農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援するとともに農地の流動化に関しては、認定農業者はもちろんのこと、集落営農組織・法人への農地集積を促進するとともに、6次産業化も視野に入れ、担い手の経営安定を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、平成30年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	野沢地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
雇用	農閑期が多く常時雇用が困難なことによる。	経営面積を拡大することで外部雇用を導入できるよう、農地中間管理機構や農業委員会と連携して農地情報を事業者へ発信していき、令和元年度までに目標を達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
雇用	農閑期が多く常時雇用が困難なことによる。	経営面積を拡大することで外部雇用を導入できるよう、農地中間管理機構や農業委員会と連携して農地情報を事業者へ発信していき、令和元年度までに目標を達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は現在ほ場整備が実施されており、今後担い手による農地の集積が期待される。そのような中で、担い手への農地集積による経営基盤の強化や、後継者の確保に取り組みながら農業集落の維持・発展を図ることとする。今後は農地中間管理機構の活用等による利用集積を促進することにより、中心経営体の大規模化の促進に努める。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援するとともに農地の流動化に関しては、認定農業者はもちろんのこと、集落営農組織・法人への農地集積を促進するとともに、6次産業化も視野に入れ、担い手の経営安定を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、平成30年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	後潟地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
雇用	農閑期が多く常勤雇用が困難なことによる。	経営面積を拡大することで外部雇用を導入できるよう、農地中間管理機構や農業委員会と連携して農地情報を事業者へ発信していき、令和元年度までに目標を達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
雇用	農閑期が多く常勤雇用が困難なことによる。	経営面積を拡大することで外部雇用を導入できるよう、農地中間管理機構や農業委員会と連携して農地情報を事業者へ発信していき、令和元年度までに目標を達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は現在ほ場整備済みであり、規模拡大志向の認定農業者が育成されてきているとともに、一部で集落営農組織による集団転作が行われている。今後、水田農業を維持・発展させるため、集落営農組織の法人化を進め、農作業の受委託などによる農地の流動化も促進することで、担い手への農地集積・規模拡大を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援するとともに農地の流動化に関しては、認定農業者はもちろんのこと、集落営農組織・法人への農地集積を促進するとともに、6次産業化も視野に入れ、担い手の経営安定を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、令和元年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	奥内地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営規模の拡大	現所有地の近郊で探しているが条件のよい農地を見つけることができず、目標を達成出来なかった。	農地中間管理機構や農業委員会と連携して、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる農地を掘り起こし、令和元年度までに目標を達成させる。
農産物の高付加価値化	「青系172号」が平成26年度に試験中止となったことによる。	代替品種として「青天の霹靂」を作付けするよう指導したものの、栽培体系が合わないため、他の品種での作付けを指導し、令和元年度までに目標を達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営規模の拡大	経営面積の拡大については、現所有地の近郊で探しているが条件のよい農地を見つけることができず、目標を達成出来なかった。	農地中間管理機構や農業委員会と連携して、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる農地を掘り起こし、令和元年度までに目標を達成させる。
農産物の高付加価値化	「青系172号」が平成26年度に試験中止となったことによる。	代替品種として「青天の霹靂」を作付けするよう指導したものの、栽培体系が合わないため、他の品種での作付けを指導し、令和元年度までに目標を達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は認定農業者を中心に一部山間部を除き、農用地の効率的な利用が図られている。既存の農地については可能な限り認定農業者への集約化を進める。農作業の受委託などによる農地の流動化も促進することで、担い手への農地集積・規模拡大を図る。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 農業経営改善計画に対する進捗状況を把握し、関係機関と連携しながら目標達成まで支援するとともに農地の流動化に関しては、認定農業者はもちろんのこと、集落営農組織・法人への農地集積を促進するとともに、6次産業化も視野に入れ、担い手の経営安定を図っていく。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、令和元年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	筒井地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	現所有地の近郊で探しているがよい農地を見つけることができなかったことによる。	農業委員会と連携して、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる農地を掘り起こし、令和元年度までに目標を達成させる。
耕作放棄地の解消	耕作放棄地の解消については、現所有地の近郊で耕作放棄地を探しているものの、土壌の状況が希望に見合う農地が見つからないことによる。	農業委員会と連携して耕作放棄地の情報提供を行い、令和元年度までには目標を達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
経営面積の拡大	現所有地の近郊で探しているがよい農地を見つけることができなかったことによる。	農業委員会と連携して、当該経営体の経営効率が向上することが見込まれる農地を掘り起こし、令和元年度までに目標を達成させる。
耕作放棄地の解消	耕作放棄地の解消については、現所有地の近郊で耕作放棄地を探しているものの、土壌の状況が希望に見合う農地が見つからないことによる。	農業委員会と連携して耕作放棄地の情報提供を行い、令和元年度までには目標を達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は認定農業者を中心に一部山間部を除き、農用地の効率的な利用が図られている。既存の農地については可能な限り認定農業者への集約化を進める。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 認定農業者など担い手の育成や新規就農の促進に向け、遊休農地については、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金等の活用により、既存の農地については可能な限り認定農業者への集約を進め、園地は改植等によるわい化栽培を主体とした園地への若返りを図るとともに、品種構成の見直しや、安全・安心で良質な生産体系の普及に努める。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、令和元年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>
--

目標未達成理由等の報告書

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
青森県	青森市	大杉地区	H25	H27	青森市

I 経営体ごとの成果目標の未達成理由等

成果目標	目標未達成となった主な理由等	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
耕作放棄地の解消	耕作放棄地の解消については、現所有地の近郊で耕作放棄地を探しているものの、土壌の状況が希望に見合う農地が見つからないことによる。	農業委員会と連携して耕作放棄地の情報提供を行い、令和元年度までには目標を達成させる。

II 地区の成果目標(必須目標)ごとの未達成理由等

成果目標項目(必須目標)	未達成理由の総括	目標達成に向けた改善措置及び目標達成見込時期等
耕作放棄地の解消	耕作放棄地の解消については、現所有地の近郊で耕作放棄地を探しているものの、土壌の状況が希望に見合う農地が見つからないことによる。	農業委員会と連携して耕作放棄地の情報提供を行い、令和元年度までには目標を達成させる。

III 地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向

<p>1 担い手への農地利用集積について 当該地区は基盤整備がされており、認定農業者を中心に農用地の効率的な利用が図られている。</p> <p>2 必要となる中心経営体の育成について 中心となる経営体は存在するが、後継者、担い手の不足が見込まれる状況であり、経営体の高齢化にともない、農地が荒廃すること等が課題となっている。今後は、中心経営体において農地集積を進めるとともに、設備の更新・導入により作業の効率化を図り経営基盤を強化するなど、地域農業の活性化が求められる。また、この地域にあるべき中心経営体として経営改善状況等を引き続きフォローアップしていく必要があり、将来の地域農業を担う新規就農者の育成・確保に向けた検討等を行っていくこととする。</p> <p>3 人・農地プランの作成・見直し等について 現行の人・農地プランは、平成24年度に各地区で作成し、令和元年度まで毎年見直しを行い、地域農業を支える中心経営体を主体に話し合いを進めてきた。今後も農地利用集積の状況等を十分勘案し、地域の担い手の掘り起こしや、新規就農者の確保など、市全体の現状を踏まえて、毎年度、人・農地プランの見直しを実施する予定である。</p> <p>4 未達成者の対応等その他 構造政策を効果的に推進するため、市全体の中心経営体の育成・確保状況やこれまでの活動状況等を踏まえて、未達成者に対するフォローアップを引き続き実施するとともに、目標年度の次々年度の達成状況等をみた上での判断となるが、今後も関係団体等と連携を図り未達成者への対応を行う。</p>
